



とよおか

第 59 号

平成24年10月20日

# 議会だより

発行／長野県豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷株式会社



～かがやく女性シリーズ～  
フラサークル“アロハ”

伴野区敬老会

9月定例会



9月定例議会のようす	1～2
決算特別委員会の質疑から	3～4
予算特別委員会の質疑から	5～6
一般質問	7～13
リニア特別委員会	13
議員の意志表示一覧表	14
委員会だより	15～16
みんなの声・私がんばっています	17



この議会だよりは、再生紙を使用しています



林原の秋桜畑

## 23年度決算——実質収支 6億3千7百万円 ＝ 多くの財政指標値も好転 ＝ 24年度一般会計補正——減債基金へ2億円積立

### 平成24年第3回定例会

平成24年第3回定例会は、9月5日から24日までの20日間の会期で行われた。

開会日の5日に、条例の制改定4件が即決された他、補正予算6件、23年度決算認定6件がそれぞれ予算及び決算特別委員会に付託された。

決算の審査は、十分な審査を行うため二つの分科会に再付託して審査を行い、延6日間にわたる審査となった。

再開本会議(最終日)では、付託された補正予算と決算がそれぞれ可決及び認定された。

又、議員発議で議会傍聴規則が制定(現行の議会傍聴取締規則の改定)された。

人事案件では、教育委員2名が無記名投票により満票で同意された。

### 23年度決算の概要

#### ■ 決算指標からみた豊丘村の財政状況

実質収支額が、22年度の

数値より4千万円程少ないが、これは村

債の繰上償還1億円余

と減債基金1億円を積立てた結果であり、過

去最高額を記録した22年度と並ぶ決算となっ

た。

又、財政健全化法による健全化判断比率に

ついても改善が進んで

おり、中でも一般会計と特別会計を含めた将

来負担比率も、負担額が充実可能財源額を6

億円余も下まわり、マイナス31%となった。

#### 23年度の主要な事業は

◎住宅リフォーム助成事業(地域産業活性化緊急助成金事業)

5257万円

当初予算で2千万円を計上したが申し込みが多く、6月、9月、3月と3回の補正予算を組んで対応したものである。他市町村での取組みもなされているが、中には当初予算のワク中で申し込みを締める市町村もあり、当村の実績は大なるものがある。

この事業による工事総額は、3億3千万円となり、その経済効果は6倍、地域経済活性化へ大きな貢献をした。

◎獣害防止対策としての防護柵設置事業

2376万円

シカやイノシシ等による農作物被害を防ぐ

ため、喬木村境より虻川まで4315mを設置した。

◎燃やすごみ収集庫の設置 746万円

雨ざらしの上、猫カラスによつて荒らされていたごみ置き場の環境改善を図るため、ステンレス製(フタ付)の収集庫を91庫設置した。

◎子育て支援対策

出産祝金：第1子(3万円)15人、第2子(5万円)27人、第3子(25万円)22人の計64人 730万円  
前年と比べると、第1子5人減、第2子10人増、第3子14人増で計19人の増となった。  
・保育所運営：従来の支援対策を継続(保育料軽減・第3子の無料化範囲の拡大等)、

未満児の入所希望も増え続けており、全員何とか入所できているが限界にきている。

3 国民健康保険 特別会計

保険給付費は、前年度より1579万円(4.8%)少なく、3億1718万円であった。又、一人当たり医療費は23万3千円で、県下で4番目に少ない。長期入院患者がいなかったことが要因である。

歳入は、税率改定で一人当たり平均9.6%の値上げをした結果、941万円余の増収となり、保険給付費が少なかったことと相まって、当初予算で計上した基金2500万円の取り崩しは不要となった。よつて、年度末基金残高は5263万円である。

4 介護保険 特別会計

65歳以上の第1号被保険者は2051人(22年度末2076人)

5 簡易水道 特別会計

で、この内要介護(要支援含む)認定者は379人(22年度370人)、認定率は18.5%となった。  
保険給付費は、前年度を3.5%上まわる7億2041万円余であった。居宅介護給付費はほぼ前年と同水準であったが、施設介護給付費が8.8%増となり、家庭介護力の低下が進展している。

村営水道の普及率は前年と同じ99.1%であったが、年間給水量は2.5%下まわる57万5688m<sup>3</sup>となった。有収率(配水量に対する給水量の割合)は、73.4%(前年比3.6%減)と低下しており、管路の計画的改修が急がれる。

6 下水道事業 特別会計

改修の初年度となった23年度では、国庫補助事業で堀越・長沢簡易水道施設の送・配水管布設替等を6708m、1億4931万円を実施した。

普及率を示す汚水処理人口比率は、合併浄化槽を含めて97.6%

年間維持管理費は、特環公共下水道(田村・林等)が4163万円余、農集排(伴野・河野)が2639万円であった。

前年度より始まった伴野農集排の大規模改修工事は、7090万円を投じて処理槽の防食工事を実施した。

24年度一般会計補正予算

補正額

4億518万円

総額

38億378万円

歳入財源の87%は前年度の繰越金(3億5千万円余)、他には地方交付税、県支出金が主なものである。  
歳出では、減債基金積立2億円、予備費1億1887万円余、その他主なものは、

○鳥獣被害防護柵設置事業…4350万円

○公共事業(村道等)による用地買収地の所有権移転の未登記個所が約800筆あり、今後計画的に登記していくが、今回60筆分300万円を計上した。



村内全域に設置されたステンレス製のごみ収集庫

# 事業展開が〔実施事業の課題も浮き彫りに〕

## 税滞納者への強制徴収は

〓当村では依頼していない〓

**唐澤議員** 地方税滞納整理機構への徴収依頼は行ったのか。又、他町村の状況はどうか。  
**税務会計課長** 徴収依頼は行っていない。分納誓約を交わし納付願っている。高森町・松川町・喬木村では、今年度に3〜8件を依頼予定とのこと。  
**片桐(秀)議員** 自らつくる交付金事業の実績はどうか。

**総務課長** 福島区の公園・河野区・堀越区の花桃植栽・河野・福島の子舞フェスタ参加・原木門の神輿改修の6件1,190千円であった。  
**大原議員** 議員共済掛金が1千9百万円と多額になっているが、どういう内容か。  
**下平議長** 議員年金は昨年6月に廃止となっ

となつている。  
**唐澤議員** 通所介護サービスの食事代1食2000円補助について、

だが、現在の受給者には引き続いて支給される。そのための財源を各自自治体で負担してもらうもの。なお、この分は後で交付税等で措置される見込み。  
**前沢議員** 河野児童クラブの、農協との賃借契約はいつまでになっているか。  
**住民課長** 契約上は平成29年3月末の10年間

## 校庭・園庭の芝生化は

〓現場は管理面で反対多い〓

豊丘村以外の施設を利用した場合の補助漏れがあるのではないか。  
**住民課長** 村外施設の利用者については、申請しないと補助が受けられないため申請漏れがあると思われる。利用実績の確認できる書類等により、補助金を支払うので申請書を出して欲しい。

**前沢議員** 保育所・小学校校庭の芝生化は考えているか。  
**教育長** 現場の意見は「維持管理の職員配置がないと難しい」とのこと。現在、南小学校で実験しているので結果を参考にしたい。  
**松下議員** 特養「あさ

ぎりの郷」の短期入所の利用実績はどうか。  
**住民課長** 豊丘村では、施設建設と「5床」の短期入所分として1億4千万円の負担をしている。ただ、短期入所の「5床」については利用実績がない。理由は職員配置がされて

いないことなど。今後は、有効利用できるよ  
うJA長野会や高森町と詰めていきたい。

## 桜・花桃の植栽後は害虫防除を

**松村議員** 地域づくり事業等で花桃や桜の植栽をやっているが、果樹農家は「ハモグリガ」の発生に困っている。年に2〜3回の防除をやって欲しい。  
**総務課長** 専門業者に聞くなど検討したい。  
**唐澤議員** 田村の村営駐車場の貸借期限がそろそろ来

らと思うが、期限がきたらどうするか。所有者は、「今さら返されても困る」との意見もあるが…。  
**産業建設課長** 契約期限は25年12月末となっている。トイレや上下水道管の敷設もしている。今後、総合的に検討したい。



河野児童クラブの活動拠点―旧JA河野支店

# 決算特別委員会の質疑から

# 住民生活向上のため多くの

## 消防OBの起用は 自主的防災組織の充実で

吉川議員 消防団員が日夜がんばっている。そこで、消防団らん券事業の充実を図って欲しい。又、喬木村で考えている「機能別団員制度」を消防OB等で組織する考えは。総務課長 待遇改善等は今後とも考えたい。当村では自主防災組織の充実を推進している。役場消防もあり進んでいる点もあるが、今後

も検討したい。唐澤議員 就学援助費の支給に関して、対象基準の拡大や手続きの簡素化及び支給額の増額等について改善を。教育長 当村の3小学校の受給者の平均割合は3・7%で、低率である。事務手続きや支給額等は今後よく検討したい。

## 生活リズム運動のさらなる 充実を

松下議員 他に先駆け実施した「生活リズム運動」の活動状況はどうか。「村民運動」と銘打つが、いまいちそのような状況が見えないが…。教育長 服部先生の講演会開催や、横断幕の

設置などで意識は高まりつつある。保育所から中学校まで地道な活動を心がけている。片桐(眞)議員 心の教室相談員の活動状況と成果はどうか。教育長 主には不登校気味の生徒の対応。養

## 国保税の引き上げは不要だった のでは

唐澤議員 国保税は920万円の増額となったが、決算内容からみて税率9・6%引き上げは不要だったのではないか。村長 23年度は長期入院など多額な給付費は少なかった。年により

変動があり安定運営には必要だった。片桐(秀)議員 水道開発基金が8100万円あるが、今後も積み立てをするのか。環境課長 24年度中に運営委員会を開いて検討したい。

護教室・相談室の一角にあり、校内でもよい空間となっている。お陰で不登校「ゼロ」に貢献している。唐澤議員 減債基金へ1億円を積み立てたがその理由と、積立額の指標はあるのか。総務課長 基金の積立額についての指標は、以前はあったが現在はない。財政調整基金と似ているが、こちらは突発的な財政上の非常時に使うもの。今後、文化施設や給食セン

ター建設の大型事業があるのでそれらを踏まえ積み立てた。



早寝、早起き朝ごはんの横断幕

片桐(秀)議員 下水道の使用料については戸数割でなく水道の使用に応じた従量割に変更すべきだ。そのため個人用井戸の実態調査をするべきでは。村長 すべての井戸にメーター器を取り付けると経費がかかるなどの問題がある。当面は現在の方式がよいのでは。

# 遠隔地を含め総延長は20kmに

## 減債基金積立額の考え方は

理想は純償還額の7億円

唐澤議員 地方財政法には「繰越金の半額は積み立てる」とあるが、これはどういう考え方がか。

総務課長 この考え方は公営企業会計のこと

で、一般会計には当てはまらない。

松村議員 減債基金の積立額は、どの程度を考えているか。

総務課長 起債償還額から交付税で措置される額を差し引いた7億

円程度あれば理想と考える。

片桐(秀)議員 人口増を図るため、40万円かけてパンフレットを計画しているが、内容と

配布先は。総務課長 住宅新築のため土地の取得や住宅

新築に対する補助制度など、人口増対策のため

の諸施策を紹介する。配布は村内の他、世田

谷祭など都会のイベントにも配布の予定。

## 障害者自立支援特別対策は

こぶし園他の新体系事業所へ

唐澤議員 障害者自立

支援特別対策事業補助金の内容と、対象事業

所はどこか。

住民課長 新体系移行の減収補てんとして、

こぶし園・ひまわり学

園・高森荘の3カ所で計270万円。このうち

4分の3の202万円が国・県の補助金となっている。

片桐(義)議員 満蒙開拓記念会館の建設に、200万円の寄付をすることになったが、犠牲者が多かった当村として関係者からはお礼

があった。他町村の様子はどうか。住民課長 泰阜村は同じく200万円を寄付した。喬木村は検討中と聞いている。

## ポリオワクチンは変更か

不活化ワクチンとなる

吉川議員 小児まひ予防のポリオ予防接種が、この9月から不活化ワクチンに変わった。単

価と国県補助金及び個人負担額は。住民課長 単価は従来の15倍。国県の補助金はないため、全額村負担。なお、個人負担金はなし。

前沢議員 太陽光発電に対する補助金150万円の増額内容と理由は。

環境課長 当初予算は23戸分490万円であったが、すでに17戸分の申請があるため追加する。増加理由は再

環境課長 当初予算は23戸分490万円であったが、すでに17戸分の申請があるため追加する。増加理由は再



新しく改良された村道八王子線



# 予算特別委員会の質疑

## (有害鳥獣防護柵が6km延伸)

### 商工会員以外も対象か

|| 農業法人も対象になる ||

川野議員 緊急雇用奨励補助事業は、商工会員でなくても対象になるか。

産業建設課長 今回は、北部5町村内で実施する。対象者は、商工会員でなくてもよく、農業法人への就業もよい。

唐澤議員 対象地域を昨年のように飯田下伊那全域に広げよう要望する。

原議員 松川町境の柄山日影へ設置する有害鳥獣防護柵は、耕作者をはじめどんな内容か。

産業建設課長 地籍は豊丘村になるが耕作者は松川町生田の人。70歳代の人で見事な「行者にんにく」を栽培している。今後の耕作可能年数は、柵の耐用年数15年は難しいのでは。

片桐(秀)議員 河野・

松村議員 有害鳥獣防護柵は、当初計画では松川町境の二丁までとなっていたのを、二丁から河野滝川まで延長

### 猿の対策に全力を

|| 強力な電気柵など検討 ||

松下議員 数年前から滝川地籍に「猿」が出

没している。地元では豊丘村全域に広がらないよう必死で対処している。先進地の事例を調べるなど有効な対策をすべきではないか。

産業建設課長 猟友会や担当者がいくつかの対策を実施している。今後は、強力な電気柵の設置など効果が期待できるものを検討したい。

片桐(秀)議員 河野・

することとなった。又、本線より山側にある7カ所の耕作地も含めることになった。このため、総延長は6キロ増加して20km、事業費では4350万円増え1億1350万円となった。

### 道路登記の未処理数は

|| 約800筆と見込む ||

要か、費用はどの位必要かなど概算の基礎計画ができる。これらを

参考にして一定時期に順位付けをするのと。と。

松下議員 村道改良後の登記処理で、未処理の全体像は。又、今回の300万円の補正でどの程度の処理ができるのか。

産業建設課長 相続や抵当権の問題で未処理件数は、約800筆と思われる。予算300万円で約60筆の処理を

見込んでいる。登記の事務方法が以前より厳しいもので、対応に苦慮している。

原議員 パターゴルフ場のトイレ改修をするが、石の投げ込み防止対策は大丈夫か。教委事務局長 トイレの便槽に鍵をつけ、再発防止を図る。



有害鳥獣防護柵

# 質 問



## 質 有事の際の避難対策は

### 答 自助・共助・公助と近助が大切

川 野 孝 子

**質問** 7月下旬に河野地区で起きたガスもれについての避難の指示はどの様に出したのか。  
**村長** 各戸へ音声告知により指示。解除は音声告知と広報車で行った。一般的には先ず第一に同報無線、音声告知、メール配信等行う。  
**質問** 有事の際先ず自分の命は自分で守る。そしてまわりへ救助の輪を広げるそのための防災士資格というのがあるが研修のひとつとして職員にこの資格を取らせたらどうか。  
**村長** 今は個人の資格よりも自助、共助、公助と近助と考えている。  
**質問** 緊急避難の際、ひとり暮らしの高齢者、寝たきりの方、ペットの避難等多くの課題が

あると思うが。  
**村長** 日々の訓練で行う事が必要。ペットの件は研究した事はないが今後検討する必要があると考える。

### リニア対策の 取り組みについて

**質問** 豊丘村でもJR

によるボーリング調査が始まっているが笛吹市で起きている井戸、沢の水の枯渇を見てきた。豊丘村として各河川等の水量調査はしないのか。  
**村長** JRの調査に任せたいが、村として流量調査までは出来ない。



村内の豊かな清流

## 議会活動報告

7~9月

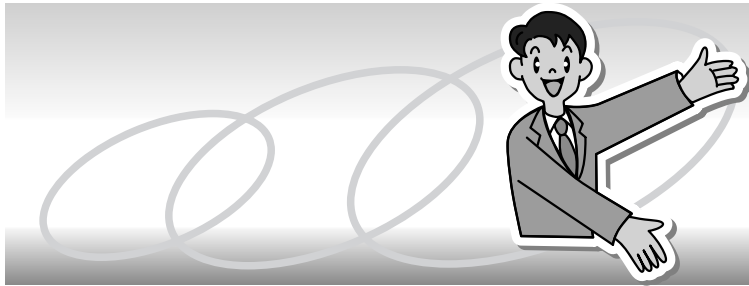
### ◎7月

- 1日 天竜川河川清掃
- 2日 議会、たより編集委員会
- 6日 議会、たより編集委員会
- 10日 例月監査・随時監査
- 11日 議会、たより編集委員会
- 12日 リニア講演会
- 13日 総務産建委員会
- 18日 社会文教委員会
- 20日 郡議長会研修
- 20日 議会運営委員会
- 23日 第4回臨時議会・全員協議会
- 23日 議会改革検討委員会(第2分科会)
- 23日 議員研修
- 24日 南部国道連絡会総会
- 27日 北部ブロック議員研修会
- 30日 広域全員協議会
- 30日 定例全員協議会

### ◎8月

- 2日 北部事務組合全員協議会
- 3日 県議長会監査及び役員会
- 10日 広域議会運営委員会
- 10日 例月監査
- 21日 決算監査(8月31日まで)
- 22日 社会文教委員会
- 23日 議会改革検討委員会(第1・第2分科会)
- 27日 下伊那郡町村議会議長会
- 28日 総務産建委員会
- 28日 北部正副議長・事務局会議





# 一般

## 質 いじめに対する教委の取り組みは

### 答 特別支援教育を中核に据えて

片 桐 秀 人

質問 豊丘村の小中学

校にいじめはあるのか。

教育長 人間が複数い

ればそこには必ず生じ

てくる、それが常だと

思うが、今のところ問

題として報告すべき事

案は存在しない。

質問 いじめの実態調

査は行っているか。

教育長 必ず9月末と

年度末に行い、その報

告を受けている。

質問 いじめの未然防

止、早期発見、早期対

応、教員の資質向上の

研修は。

教育長 不登校・不適

応などの

心配なこ

とは、月

1回の定

例教育委

員会に報

告されて

いる。

各学校

に危機管

理といじ

めの対応

マニュアル

があり、そ

れに沿っ

て

いじめの実態数



早期発見・早期対応を行って。当事者たけへの対応でなく、見えていた周りの子供の指導が大事だ。私は各学校に特別支援教育を中核にすることを求めている。どの子にもわかる授業、思いやりの心を育てる、心豊かな児童が育つよう教師の力量を高め、明るい学級づくりが大切な方策と考えている。

質問 学校運営に保護

者の意見反映の方策は。

教育長 参観日、学校

解放日、家庭訪問など

で風通しの良い学校づ

くりを行っていく。学

校評議員制度はまたな

い。

### ◎ 9月

29日	29日	監査委員研修会
28日	30日	定例全員協議会
25日		議会運営委員会
24日	1日	リニア講演会
22日	3日	決算監査報告
21日	5日	第3回定例会開会
20日	6日	決算特別委員会
19日	7日	全員協議会
18日	10日	総務産建委員会
14日	11日	議会だより編集委員会
13日	13日	総務産建委員会
14日	14日	議会改革検討委員会(第2分科会)
13日	18日	広域連合議会
11日	19日	一般質問
10日	20日	決算特別委員会
7日	21日	全員協議会
6日	22日	決算特別委員会
5日	24日	北部地区県陳情
3日	25日	予算特別委員会
1日	28日	リニア特別委員会
	29日	議会運営委員会
		議会運営委員会
		議会議長会
		南北小学校運動会
		第3回定例会再開
		全員協議会
		天竜川架橋期成同盟会総会
		村敬老会
		中央保育所運動会



質 今後の原子力発電について村長の考えを問う

答 政府の施策の展開を見守る

吉 川 明 博

質問 浜岡原発は豊丘村から南南東へ直線距離約103kmの所にあり、原子力事故が起きれば放射能が風に乗って流れてくる距離にある。今後の原子力発電について村長の考えは。

紙を出した。(個人情報は伏す)

おかずを増量し300円で10月から毎週配食として本実施とする。

住民課長 7月8月に行い、概ね良好な評価を得られた。おかず米飯が400円、おかずのみ250円としたが、

配食サービスの試行の結果は。

紙面の都合により、有毒ガス発生事案について、児童の引き取り訓練については割愛する。

ね、政府民主党が原発依存度のことを言い始めたが、自然再生可能エネルギーへの転換等、選挙目当ての大衆迎合的に見えるので今後の施策の展開を見守る。

質問 社会教育施設基本構想の村民への意見募集について、すべてそのまま公開することを要請する。

教育長 村民からの意見が8件あった。その内容は原文のまま公開し、すべてに答えの手

質問 豊丘村のご当地自慢を挙げるとしたら。村長 自然と農業が織りなす日本人のふるさとの原風景と豊かな人情、びつくりするほどおいしい農産物。

質問 村長自身が村外や県外で行っているPR活動は。

村長 都市部で行われる観光まつり等に積極的に参加し、豊丘村のトップセールスマンとして対面販売している。村の自慢できるものを自信を持って売り込んでいく。

質問 村の知名度アップや産業振興のためにやっている情報発信の方法は。

総務課長 インターネット環境を媒体とした情報発信のほか、だ

質 豊丘村のPR戦略は

答 様々な手段で積極的に進めたい

酒 井 浩 文

質問 今後の戦略として①CMコンテストへの参加 ②公用車へのラッピング広告 ③誘客イベントの開催 ④原付バイクのご当地ナンバー ⑤ご当地グルメの開発、の可能性は。

総務課長 ①今後も積

極的に参加し活用する。②現在公用車用のだんQくんラッピングを試作中である。③先進事例を参考に検討する。

質問 今後の戦略として①CMコンテストへの参加 ②公用車へのラッピング広告 ③誘客イベントの開催 ④原付バイクのご当地ナンバー ⑤ご当地グルメの開発、の可能性は。

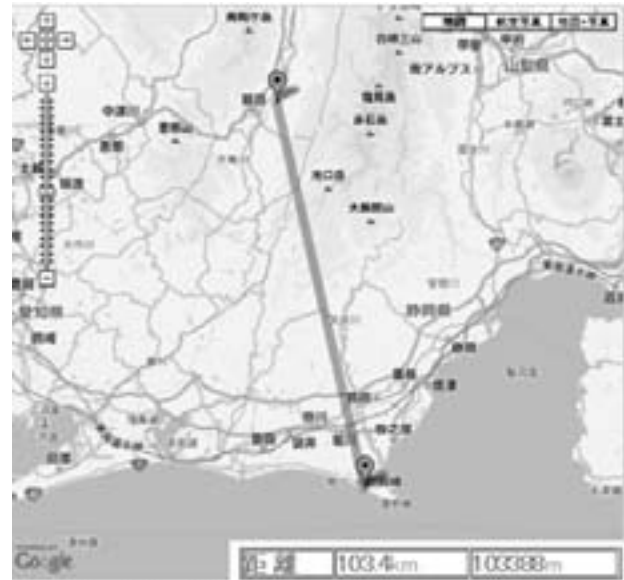
総務課長 ①今後も積

極的に参加し活用する。②現在公用車用のだんQくんラッピングを試作中である。③先進事例を参考に検討する。

質問 今後の戦略として①CMコンテストへの参加 ②公用車へのラッピング広告 ③誘客イベントの開催 ④原付バイクのご当地ナンバー ⑤ご当地グルメの開発、の可能性は。

総務課長 ①今後も積

極的に参加し活用する。②現在公用車用のだんQくんラッピングを試作中である。③先進事例を参考に検討する。



浜岡から110km



豊丘村のご当地グルメは？

質 介護予防の進捗状況は

答 順調に進めている

大 原 千 賀 子

質問 介護予防新規事業の地域ミニデイ、健康教室の様子はどうか。

又配食サービスの利用者、参入業者の状況はどうか。

住民課長 ミニデイ6

住民課長 対象者世帯

地区の特に中芝、福島は男性の参加も多い。介護予防の話や歌レクリエーション等で盛況。健康教室も6地区で月1回、10人前後が柔軟体操をしている。

373内53世帯が申込まれ、10月より週1回実施。配達はボランティアにお願している。ボランティアの募集をしているので、協力願いたい。参入業者は「かあちゃんのお店」と「イースト」。

質問 体操もミニデイも飽きのこない対策を、

質問 高齢者は最後まで自宅で過ごしたいのが本音、介護制度が改正されたので介護者の負担を少しでも軽くするため、豊丘でも24



ボランティアによる配食

時間巡回訪問はどうか。それには、増員も必要と思う。

村長 始まったばかりなので、今後も具体的な提言を参考にしたり、詳しく状況を研究する。

災害訓練の状況

質問 昨年の東北の災害を生かす訓練を地域でも行つて欲しい。小学校での防災訓練を見て、医療現場の大変さが分かった。豊丘はいつも昼間行われているが、夜間の訓練も必要と思う。また見学者も少なかつた、周知も考えられたい。

村長 毎年同じ訓練ではなく、区長や住民と打ち合わせて、新しい形も研究していくべきかと思う。

質 「空家・廃屋対策条例」の制定は

答 何らかの新たな施策を考えたい

松 下 亨

質問 全国的にも「空家・廃屋問題」が浮上している。倒壊による危険性や防犯上に加える。村内にもこうした廃屋が見られる。そこで、村内の実情がどうであるか実態調査を

する必要があると考えらるが。

総務課長 現在、税務

係で「全棟調査」を行つており、これに合わせて調査している。

質問 この調査は、25年度で行うもので、

結果が出るのは26年度

となつて

飯田市では、各地区町づくり委員会に10月未

までの期

限で調査依頼して今年度中に詳細調査が完了するとい

う。当村

でも、自

治会長に調査依頼すれば概要はつかめる。ス

ピード感をもって対処願いたい。

次に、これらの問題に対応するための「空家・廃屋対策条例」が必要と考えるが。

総務課長 個人財産に関する点があり、法律に抵触する点が若干あるため、現在のところは考えていない。

村長 村内には見るに

忍びないものが多いが承知している。近所にしても遠くから見るとしても切ない。本年度中に現在の補助制度が終わるので、何らかの新たな施策を考えたい。

（環境基本条例の質疑は省略）

増加する空家・廃屋



増加する空家・廃屋

増加する空家・廃屋

増加する空家・廃屋

質 成年後見制度の啓発、周知を

答 制度の学習、周知に努める

片 桐 眞 理 子

質問 高齢により判断能力が落ちることや悪徳商法にだまされたり金銭の管理ができなくなる場合がある。このような状況を法的に保護する成年後見制度という支援があるが、知らない、理解がされ

てないなど課題もある。村の状況、周知の徹底、第三者後見人の養成についての考えを伺う。住民課長 高齢者のケースでは相談はあるが制度利用に至った事例はない。第三者後見人の育成は困難である

不育症に助成制度を

質問 不育症とは妊娠はしても流産、死産を2回以上くり返す症例

の事で、最近まで研究も少なく認知が進んでいなかった。適切な治療をすれば85%の方が出産可能となる。治療に保険適用外が多く、高額な費用がかかる。不妊治療と同様に不育症にも助成を願う。住民課長 不育症については、初めて知った状況だ。今後、地域全体の理解を深め、検査、治療の受けやすい雰囲気作りに努めていく段階である。



地域ミニディでの学習風景

が手続等が円滑に進められるよう郡下の市町村の共同設置を検討している。民生児童委員会等と連携し学習、周知に努めていく。

質 進む少子化について村長の考えは

答 人的支援体制の充実にも力を入れる

井 原 康 明

質問 年々進む少子化問題に関連した施策で、人口増対策だけでは物足らず、根本的に出生につながる施策が足りないと思うがどうか。村長 そのとおりだと思います。子育て中の世代に今、少子化問題を投げかけるには、子育ての負担感を大きくしてしまうと考えている。あらゆる世代の住民に向けて、子育て世代への意識を高め、子供を地域で育てていく事が大切と思っている。

質問 出生数を増やすために、結婚及び愛ねつと北部の事業にも更に支援が必要で、役場内にも結婚相談専門職員の配置ができないか。村長 結婚相談事業は社協に委嘱している。

結婚相談員も一部交代があり新しい視点での支援を期待するが、専門職の配置は今後課題としてもいいかなと思う。

若い方々が豊丘に住み、子育てしやすい環境を整備や、豊丘村のPRを十分する事が必要で、ぜひ前向きに取り組んで頂きたい。



一人で遊ぶ子供

現在、支援として保育料、誕生日本・給食米などの補助も行っており、子育てをしやすい村にし、輝かせたい。また、これから豊丘村に若い人たちに住んでもらい、仕事をして

質 どう進める 村の森林・林業施策は

答 県プランを基に積極的対応を図る

片 桐 義 憲

質問 森林の持つ多面的機能の発揮や、有効活用は重要。森林保全と林業資源の活用についての考えは。

村長 山林を守り、活用することは防災面からも重要。飯伊森林組合が策定する森林経営計画に基づいて事業推進を図る。

質問 具体的な実行計画となる、県のアクションプランの内容を伺う。  
産業建設課長 今後の10年で、素材生産量を2.5倍、搬出間伐材を2倍とし、県産材の利便促進を図ることが主な内容。  
質問 条件不利地域での森林整備が進まない。水源林造成事業等、公的整備を図るべき。  
産業建設課長 全額公

的資金で整備が可能な保安林だけが、地権者はこの指定に前向きでない現状。  
質問 未利用木材の積極的活用、特に木質バイオマスの拡大は広域的にも取り組む期である。又公共建物への木材利用方針の策定は重要と考えるが。  
産業建設課長 下伊那管内の策定率が低い実態に疑問視している。早急な検討をすべきと



整備された「ひのき」の村有林

考えている。  
意見 郷土の原風景を守るためにも、森林整備や保護は重要課題。森林資源の利活用できる施策の展開を願う。

質 歯科保健の推進を

答 今後可能な方法を計画する

前 沢 光 昭

質問 歯は健康の源として重要視されている。口腔ケアを重要な保健活動として進めている自治体もある。かつて80歳で20本以上の歯を維持するという8020運動が全国に広がったように健康増進は行政の役割として進めていく必要がある。県でも「長野県歯科保健推進条例」をつくり財政措置の条項もあるが、豊丘村として進める必要があると思うがどう考えるか。

住民課長 県条例では努力義務に留まっております。豊丘でも取り組んでいないのが現状。健康増進法による健康日本21の目標項目の中に歯科保健も含まれている。豊丘村としては実現可

能な歯科保健について今後計画していく。現在実態把握中。

第三子保育料 無料を第二子にも

住民課長 主に母親が多様な働き方ができるようになったかと言える。実施後は若干出生数が増えている。

質問 現在保育所での延長保育や未満時保育は3園に

広がっており子育て支援としては効果が上がったと信じている。実施前、実施後の出生数からどう感じるか。今後第二子へも無料を拡大できないか。



入所希望が増える未満児保育

# 質 総合防災訓練の見直しを

## 答 今後、更なる防災の研究をする

唐 澤 啓 六

質問 南海トラフ周辺における巨大地震による犠牲者は最大32万人になるとの驚愕な発表がされた。多くは津波によるもので、早期の避難で8割はその被害が軽減できるとされている。本村では、最大震度6弱と予想されている。

判断を下すためのノウハウがまだ役場にはないので、研修の受講や防災のセクションをちゃんと作る等、今後更なる防災の研究をしていく。

### 自主的な子育て対策に村の支援を

建設計画によって、来年度活動の拠点が取壊しになる。村が移転先について手助けをする必要があると考えているが、村長 村としても心配しており、応援もしたいと思っているのだから相談していく。

### 質問

地震を防ぐことは不可能だが、その被害を軽減することは可能である。当村の本年度総合防災訓練は、従来通りの初期消火訓練中心に行っている地区も多く、災害時の要援護者の避難対応等、多様化する災害に対処する総合的な訓練に転換していくべきと考えるが、村長 指摘された点はその通りだと思ふ。

本村の公的子育て支援策は多様な取組みがなされているが、当事者による自主的な取組みを行政が支援することも重要な施策である。その取組みのひとつ（忍たまプラザ）が、村の社会教育施設



親子が楽しむ「忍たまプラザ」

# 情報共有化と将来展望を見据えて

## 第1回委員会開催

来年度には、リニア新幹線の路線と駅の位置が決定される。路線横断が確定視される当

村を含め、飯伊地域は、直接的、間接的に、私達の暮らしや、産業に大きな変化が起きるのは必至である。

実施要件と、広域連合が調整していく案件が多いことから、見守っていく必要があるとした。

議会では、工事進捗に伴ない、今まで以上に、村や関係機関と情報の共有を図る事。又、開通を見据える中で、村民と共に

村民の皆様には、この委員会の所期の目的を御理解願ひ、将来に向けたご意見を、多くお寄せいただきたい。

# リニア特別委員会

委員長 片 桐 義 憲

将来展望を切り開き、確かな地域発展を成し遂げる決意からも、委員会を立ち上げた。

第1回は、湧水、地下水、表流水、残土処理、住民周知の5項目を議論したが、JR東海の



工事の進む山梨の実験線

## 議員の意志表示一覧表

〈平成24年 7月 第4回臨時会〉

○……賛成 ▼……反対

	件名	審議結果	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	大原千賀子	片桐義憲	原健治	松村正三	片桐眞理子	川野孝子	片桐秀人	前沢光昭	唐澤啓六
条 例	豊丘村こぶしが丘パターゴルフ場設置条例を廃止する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契 約	平成23年度地方特定道路整備事業道路改良工事(八王子線八王子)工事変更請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度防災行政無線デジタル化工事(豊丘地区)工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈平成24年 9月 第3回定例会〉

条 例	豊丘村有線放送施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村暴力団排除条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度補正予算	一般会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村後期高齢者医療特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村介護保険特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村簡易水道特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村下水道事業特別会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度歳入歳出決算認定	豊丘村一般会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村国民健康保険特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村後期高齢者医療特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村介護保険特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村簡易水道特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村下水道事業特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発 議	豊丘村議会傍聴規則の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契 約	平成24年度農業集落排水施設機能強化事業河野地区工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	地球温暖化対策に関する、地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 総務 建産

## 「森林は重要なCO<sub>2</sub>吸収源 ―地方財源の確保と充実を求む―

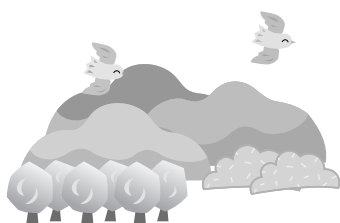
総務産建委員長 松村正三

「CO<sub>2</sub>吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること」とする意見書を国に対して提出。

地球温暖化防止をより確実なものにするためには、CO<sub>2</sub>吸収源である森林の整備・保全等の取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。しかし、この取り組みを行うには、市町村では恒久

的・安定的な財源が大幅に不足している。

国は、10月より「地球温暖化対策のための税」を導入する一方で、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」について、「平成25年度実施に向け成案を得るべく更に検討を進める」としている。地方とすれば、「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築し、示すよう求めた。



# 社会 文教

## 「信濃の国」の出迎えに感動 秋田・岩手の視察を終えて

社会文教委員長 川野孝子

10月3日～5日の3日間社会文教委員会の視察を行った。参加者は委員と議長、教育長の9名。今回の視察の目的は大きく2つあり、そのひとつが岩手県奥州市で取り組まれている「ふれあい、いきいきサロン」の現場を見ること。奥州市は人口12万5千人。サロンの運営については行政区の区長、民生委員そしてご近所福祉スタッフの連携で行われている。ご近所スタッフというのはボランティアで奥州市全体で約千人。サロンのひとつ「ひまわりサロン」を訪ねた。お年寄とスタッフの皆さんで30人程が集まって紙芝居や歌を楽しんで

いた。

驚いたのは私たちが到着すると「信濃の国」を歌って出迎えてくれたことだった。101歳のおばあちゃんを始め皆さんの笑顔は感動すら覚えた。

がつており開放的な雰囲気の中、刺激し合いながら学力アップの取り組みが見とれた。中学生は自転車通学で、何百台という自転車が整然と並ぶ様は全国でも有名と聞く。

次は秋田県の湯沢小学校、湯沢北中学校の小中連携教育の視察を行った。秋田県の学力は全国トップクラス。この学校の建物は小中つな



「いきいきサロン」でご近所スタッフと和やかに

# 委員会だより



# 県知事、県議会への要望活動

## 架橋実現へ向け着実に前進

議長 下 平 豊 久



加藤副知事への要望活動

この日、北村県建設部長と面談提言活動が行われた。豊丘村議会は、天竜川架橋の早期実現について特に要望し

た。河野八王子地籍で進められている道路改良工事の進捗状況を示す写真等を手渡しその早期実現を強く要望した。北村部長は、北部地域道路問題検討委員会で検討し現在予備設計に着手しているが、最終的にはリニア環境評価準備書が公開されたルート等が公表された時点で最終判断すると言及され、架橋実現へむけて着実に前進している事を確信した。

北部ブロック町村議会は、長野県知事・県議会議長への要望活動を9月20日長野県庁で行った。

この要望活動には、議長・副議長・事務局長が参加した。長野県知事・県議会議長への要望活動では、

た。河野八王子地籍で進められている道路改良工事の進捗状況を示す写真等を手渡しその早期実現を強く要望した。

# 議会改革委員会の活動から

## 検討が進む議会改革

議会改革検討委員長 唐 澤 啓 六

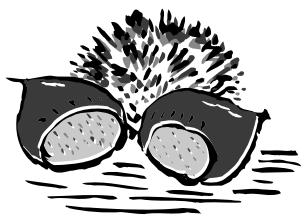
前号で、議会改革への取組みが始まった経緯について報告した。その後の検討状況について報告。

まず、情報公開の視点から議会本会議傍聴規則の見直しについて、2つの分科会でそれぞれ検討を進めた。

を組み立てて、全7条からなる簡潔で規制の少ない「傍聴規則」にした。具体的な一例では、「標準」には規定されている帽子、コートの着用制限や録音機、カメラの携帯制限等をなくしている。

昭和30年4月28日に制定されたこれまでの規則は、表題が「豊丘村議会議事録人取締規則」となっており、取締るという視点を根本的に改めることを念頭に、その個別事項も、住民の皆さんが議事を傍聴し易くする方向で検討した。全国の町村議会の多くが、「標準」町村議会議事録規則(全11条)を採用している中で、検討委員会ではこの「標準」はあくまで参考にはするものの独自の条項

なお、この改定規則は今定例会最終日に、議会運営委員会によって発議され、全会一致で決定された。施行は10月1日。



シリーズ 「私、がんばっています」

南市場 船橋 正晴 さん

今回は、4年前に農業の魅力にひかれ、長年勤めた大手の自動車会社を辞めてご夫婦で新しく農業に励んでいる南市場の船橋正晴さんを訪ねてみた。

船橋さんは今年43歳、奥さんと2人の子供さんの4人家族。平成20年に住み慣れた浜松を離れ、一から農業に取り組むために就農支援

心する。研修のための里親探しをしていたところ、ちょうど豊丘で里親として迎えてくれることとなり、現在の南市場に住所を構えることになった。

制度が整っている長野県を候補地を選び、下伊那は特に浜松の隣で親しみを覚え、この地でアスパラガスと市田柿で農業をやろうと決

に進み感謝していると語る船橋さん。一日も早く農業で生活していける一人前の農家を目指し、今度は



毎日農業に励む船橋さん

地域に恩返しをしたいと熱く語る船橋さんを頼もしく感じた。

## みんなの声



南小PT Aで毎年行っている「おやじの会」に初めて参加した。ここ数年は、運動会前に

校庭整備を中心に作業しているようで、今年も暑い陽射しの中30名余のおやじ+先生方で行った。

### 「おやじの会」

伴野 菅 沼 麻 里

多くの仕事をこなしてくれたおやじ達。すごいなあ、と感心した。その後、懇親を兼ねた慰労会を行い学年を

超えているんな話とび出した。今年で10回目になるこの作業。初回は夢広場をつくる整地だったそうでなかなか

送っている。いろいろな人達の力を借りて、子供達が成長していくことを再確認した気がする。私も、もう少し関わっていか、考えてみようと思う。

### ◇ 編 集 ・ 発 行 ◇

発行／長野県豊丘村議会  
編集／議会だより編集委員会  
〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地  
TEL 0265-35-9063 / FAX 0265-35-8355  
ホームページ <http://www.vill.nagano-toyooka.lg.jp>  
電子メール [gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp](mailto:gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp)

発行責任者：議長 下平豊久  
編集委員会：委員長 松下亨  
副委員長 大原千賀子  
委員 酒井浩文  
委員 井原康明  
委員 唐澤啓六

議会だよりに、ご意見・ご感想をお寄せください。